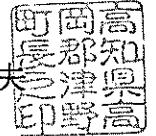




津野第177号
平成19年5月1日

国土交通省 道路局長 様

高知県 津野町
町長 明神 健夫



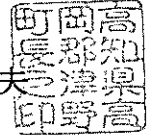
「道路の中期計画の作成にあたっての意見書」の提出について

標記の件につきまして、別紙のとおり意見書を提出します。

道路の中期計画の作成にあたっての意見書

平成19年5月1日

高知県津野町長 明 神 健 夫



1・地方の財政状況に見合った負担率の軽減

道は国土の発展と保全を図る上において必要不可欠である。

しかしながら、その実情は地理的条件や経済的な影響力などにより、大きな較差が生じている。

中でも、本県のような経済基盤も脆弱で財政力も乏しい地方においては、道路整備に必要な負担金にも事欠く状況となっている。

この状態が今後も続けば、益々その格差は拡大するばかりであり早急に抜本的な対策を講じる必要がある。

については、その対策の一つとして国道の整備に要する地方の負担率を財政力に応じて大幅に軽減すべきと考える。

2・高速交通網の整備と通行料金の引き下げ

遅れている、四国の高速交通網整備の中でも高知県の整備率は極めて低い。この状況は、大都市圏から遠く離れ且つ四国山脈で分断されている本県にとっては、物流等における経済活動や交流人口の拡大等すべてにおいて大きな障害となっている。

今日、東京を中心とする大都市圏と社会的・経済的基盤の脆弱な地方との格差が議論されるところであるが、本県の場合は社会基盤の根幹である交通網の整備すら大きく立ち遅れている状況にある。

については、衰退著しい本県の経済の活性化を図ると共に、県勢浮上の為にも、高速交通網の整備は必須条件であり、現在四国の道路整備の重点政策としている「8の字ネットワーク」の早期完成に重点的に取り組むべきである。

また、経済活動の活性化や地球温暖化対策（CO₂抑制）、また燃料価格の高騰対策などなど高速道路は多面的な役割を担うものがあり、早急に通行料金の引き下げを行う必要がある。

3・地域と直結する国道・県道の整備促進

地域と直結する幹線道路網である国道や県道においても、その整備率は極めて低く救急車等の緊急輸送時間は全国平均の倍近くを要し、また異常気象

時における通行規制区間も極めて多い現状にある。

この状況は、台風時や発生が危惧されている震災から県民の生命・財産を守る上において重大な問題である。

又、7, 104k m²と広大な面積を有する本県は、「海・川・山」などの自然や地域での体験を核とした観光が主体であるが、目的地に至る移動時間の長いことが観光客の伸び悩み状態の要因の一つであると思える。

ついでには今後、高速道の整備が進む中で幹線ネットとしての国道・県道のもつ役割は益々大きなものとなってくことは明白であり、地域の経済活動の活性化や交流人口の拡大の為にも国道・県道の整備は必要不可欠である。

ただ今日の財政状況を考えると、たとえ国道であっても全線を二車線で改良することは困難な状況であり、実状に応じて将来の二車線化を見据えての1,5車線改良区間や歩道の廃止区間などを設けるなどして、事業費の削減に取り組むことも必要と考える。